

広報まき

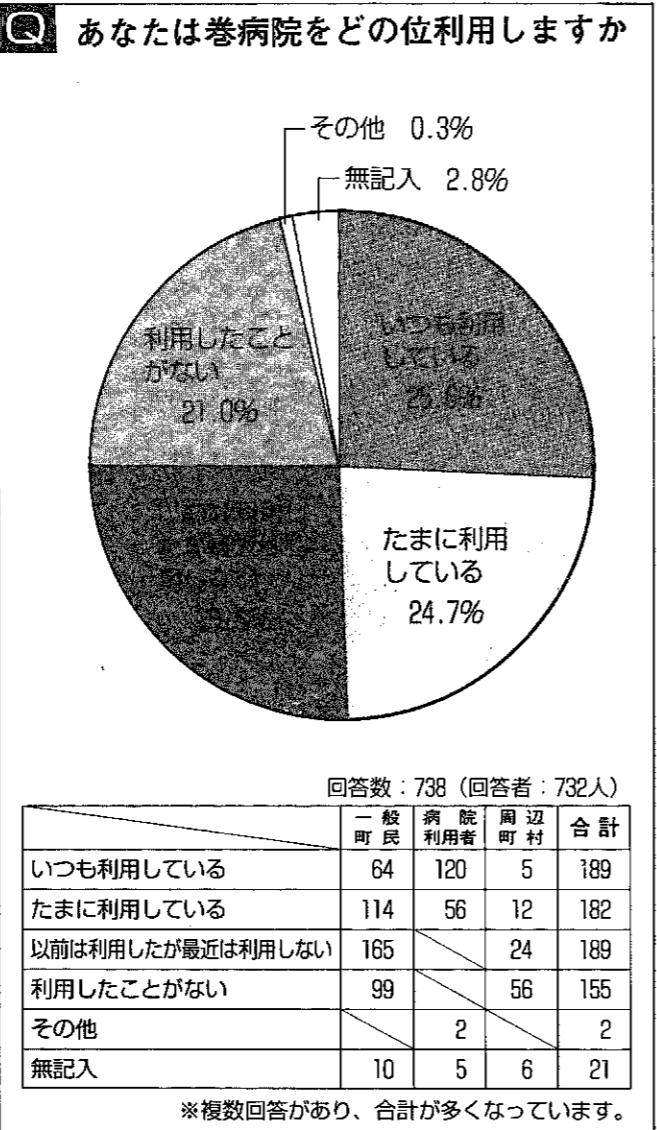
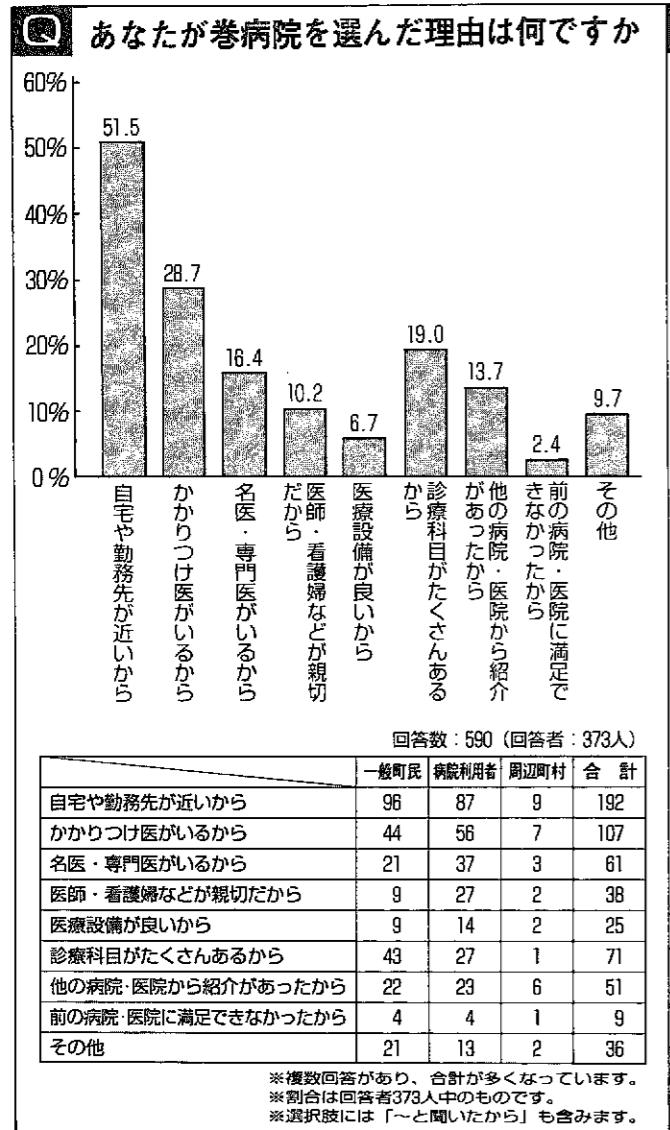
1999
(平成11年)

10/
10

第805号

◆毎月10日・25日発行





自由意見

外来の感想

「受付・薬局前の待合室の照明と換気を、もっと快適な状態にしてほしいです。」（女・50代）

「平日を週1回休みにして、土曜・日曜など働いている人のための検査などが中心の日を設けてほしい。」（女・40代）

「夜間の診療については当番のほかに、必ず内科の先生が必要と思う。夜間診療には何度か断られたことがある。それでは困る。」（男・60代）

「組織検査に出てから、結果が出るまで（次の予約まで）の期間が長すぎる。」（女・20代）

「診察室前の長いすに腰掛けて待っていると、室内の先生と患者との会話がよく聞こえる。一考を要す。」（男・60代）

入院時の感想

「一人でも心得違いをしている看護婦がいると、病院全体の品位とか心の有り様が問われます。『自分が見てやっているんだから看護婦にかわいがられる患者になれ』と言っている看護婦がいました。」（女・70代）

「看護婦さんたちは実に親切で応対も良く、ただただ感謝の毎日でした。」（男・70代）

「家族（年寄り）が内科病棟へ入院した時、たった一人の看護婦さんだけでしたが、対応がきつく手荒いので、怖がって『家へ帰りたい』と言っていた。」（男・70代）



巻病院の「良さ」等

「内科医の病状に対する説明が良い。看護婦さんも親切。」（男・60代）

「診療科目が多く、病床のある病院があることはありがたい。産婦人科・耳鼻咽喉科があれば更に良い。」（男・70代）

「子どもが薬を飲んでくれたこと。（おいしいみたいで他の病院の薬は飲まず、こちらに来たら飲みました）」（女・30代）

巻病院を利用しない（しなくなった）理由

「老人の施設のイメージが強く利用しにくい。」（男・40代）

「医者が変わるので何か不安を感じる。」（男・50代）

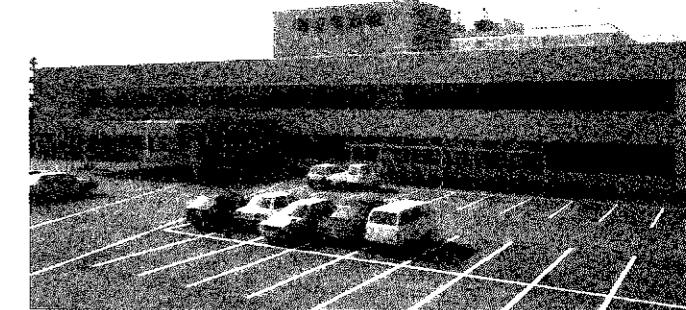
「私が入院して他の病院に移った時は、こんなにも職員の対応が違うものかと思ひ、それ以来巻病院には行かない。子どもが個人医から巻病院への紹介状をもらった時も、私の方から断りました。設備が整っていても、先生の評判も良くないし、職員の方も良くない評判を聞きます。」（女・40代）

「1年に3億円の赤字を出しているにもかかわらず、内科の先生が4人も必要なのか等、もう少し経営を考えたらいいと思います。」（男・70代）

巻町国民健康保険病院

アンケート 調査結果

地域医療の中核施設 の在り方、 に様々な意見



7月に行った「巻町国民健康保険病院アンケート調査」の集計がまとまりましたので、その概略をお知らせします。

巻町国民健康保険病院（以下「巻病院」）は、平成10年度末に累積欠損金（赤字）が約20億2千万円・不良債務（資金不足額）が約6億1千万円と、非常に苦しい経営状態になっています。（グラフI参照）

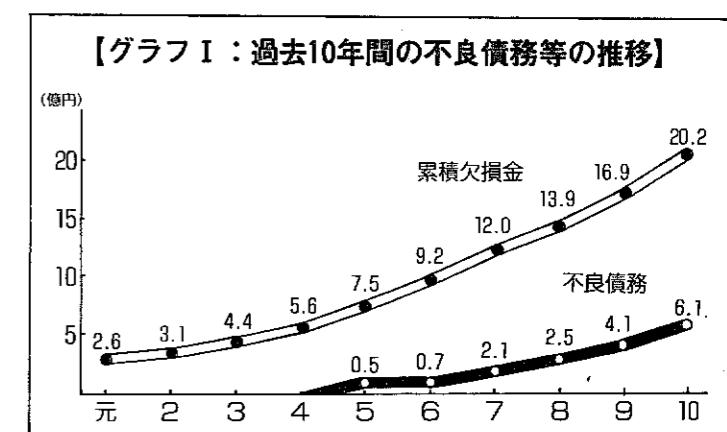
これは、外来患者が平成3年度をピークに減少傾向にあることが、原因の一つともなっています。（グラフII参照）

巻病院が、これからも地域に密着した自治体病院として存続していくためには、大きな改革が必要です。また、平成12年度からの介護保険制度導入をはじめとした保健・医療改革に対応した、より良い医療環境の整備も望まれています。

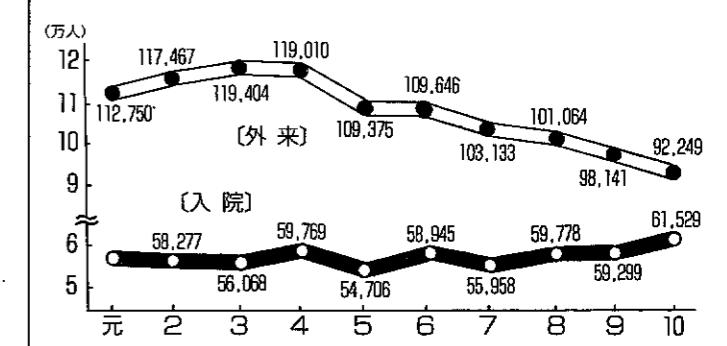
今回実施したアンケートは、町民の皆さんや病院利用者の皆さんとの声を聞き、町民・行政が一体となって経営改善に取り組むためのもので、全部で1,049件のご意見が寄せられました。おほめの言葉だけでなく、厳しいご指摘も多くありました。その中では、「午後・土曜診療を希望するご意見」や「職員の接遇改善を求める声」が大きいのが目につきました。

このアンケートの結果は、これから計画策定の際の貴重な資料として活用していきます。

【グラフI：過去10年間の不良債務等の推移】



【グラフII：過去10年間の外来・入院患者数の推移】



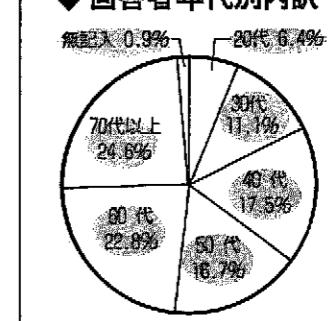
【調査対象】合計 1,900人

- ①一般町民 1,100人（20歳以上の住民基本台帳登録者から無作為抽出）
- ②病院利用者 500人
- ③周辺町村住民 300人（吉田町、西川町、弥彦村、岩室村、中之口村、潟東村から各50人を無作為抽出）

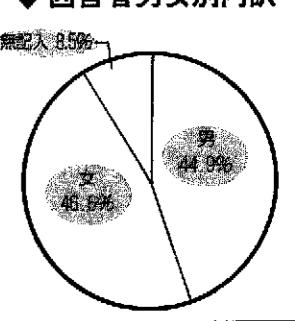
【回答数及び回答率】732人：38.5%

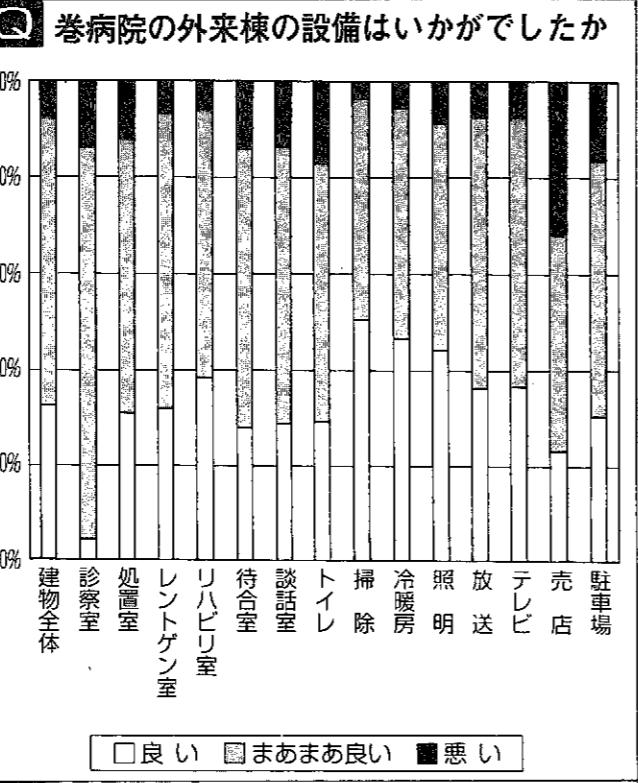
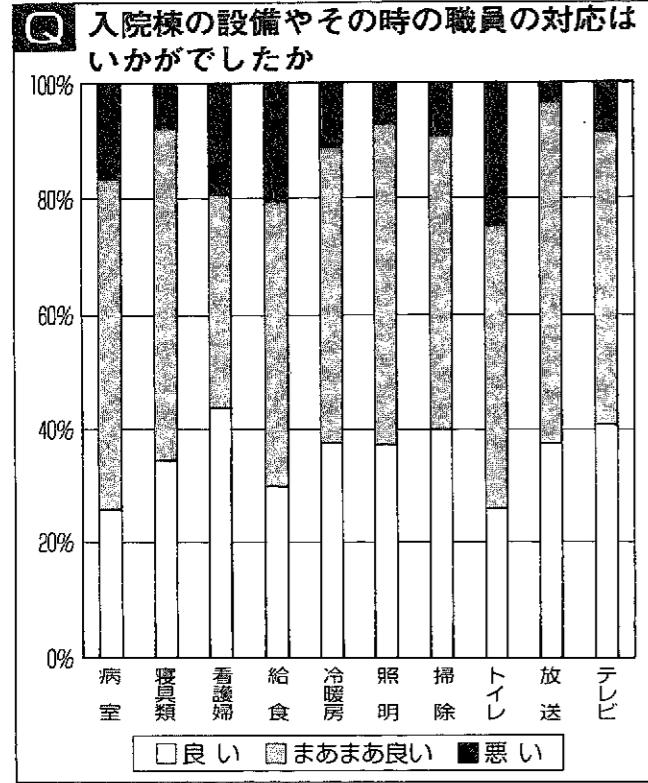
- ①1,100人のうち446人の回答：40.6%
- ②500人のうち183人の回答：36.6%
- ③300人のうち103人の回答：34.3%

◆回答者年代別内訳



◆回答者男女別内訳





「巻病院の規模を縮小して、町民に喜ばれる親切な病院として生まれ変わってほしい。週に1~2回程度の診療科は無くて良いと思う。入院もできないし、脳外科などは無い方がかえって救急車が大きな病院へ直接行けるし、時間もかからないので患者にとっては幸いだと思う。」(女・40代)

「日々、入院している人のお見舞いに行くことがあります。病室が狭いせいもあるかもしれません、ベッドの周りをはじめ、あまりにも物の置き過ぎではないでしょうか。病室はやはりスッキリと清潔であってほしいと思います。」(男・20代)

「巻病院は既に医療機関としての町民の信頼を失っており、今さら小手先の改革を行っても信頼回復は不可能と思われる。従って、これ以上赤字を増やさないためにも巻病院は閉鎖(廃業)した方がよい。21世紀に向けて急速に高齢化が進展する中で、一人でも寝たきり老人を増やすために、鎌潟地区に近隣町村の協力を得て、新たに日本海随一のリハビリを専門とする病院を設立し、現在の巻病院は老人保健施設にすべきである。」(男・60代)

「他の医療施設と医者・看護婦・その他の職員の人事の交流や話し合いはできないか。それができないのであるのなら、各地にある民間の大手医療法人のコンサルタントのアドバイスを受けるか、資本を入れるかによって病院の内容を変えてもらいたい。町民として、このままで赤字が多くなるばかりで心配だ。町の会計からいつまでも補充しなければならない。早く解決してもらいたい。アンケートだけで終わることのないように、取り入れてもらいたい。アンケートだけで終わるだけでは絵に描いたもちである。」(男・60代)

「不整脈で3年前から月1回通院しているが、今までに内科医が5人も交代っている。決まった主治医がほしい。」(男・70代)

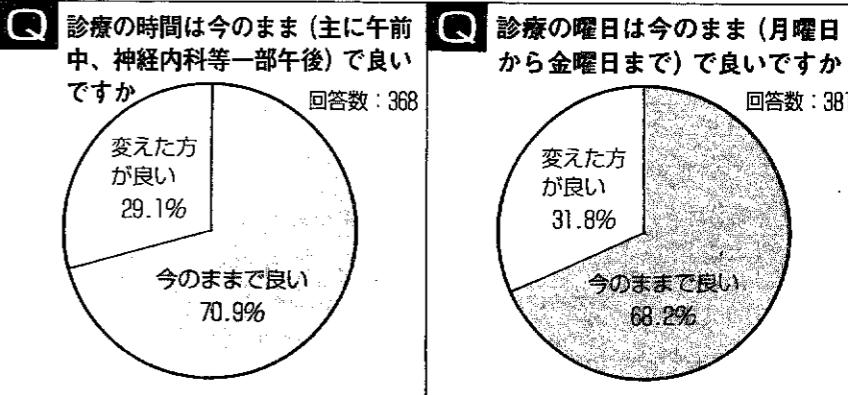
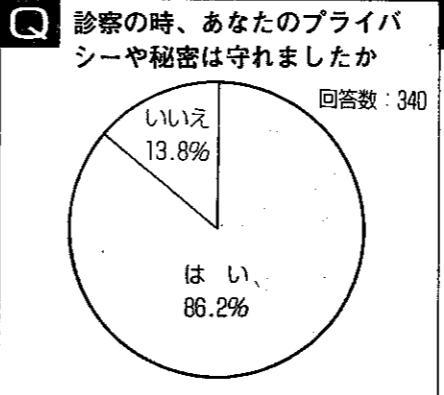
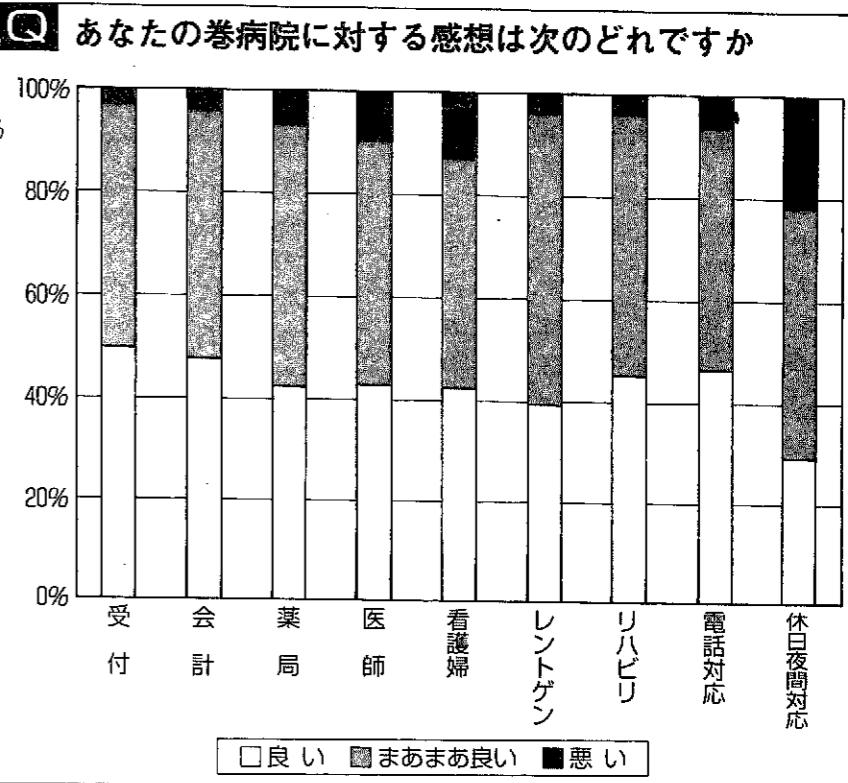
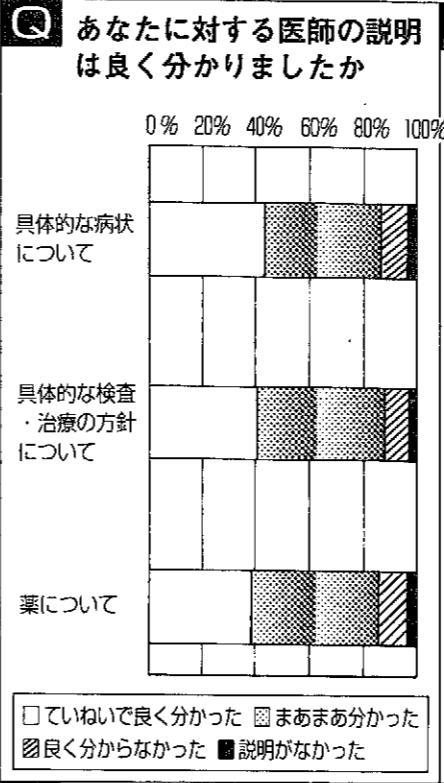
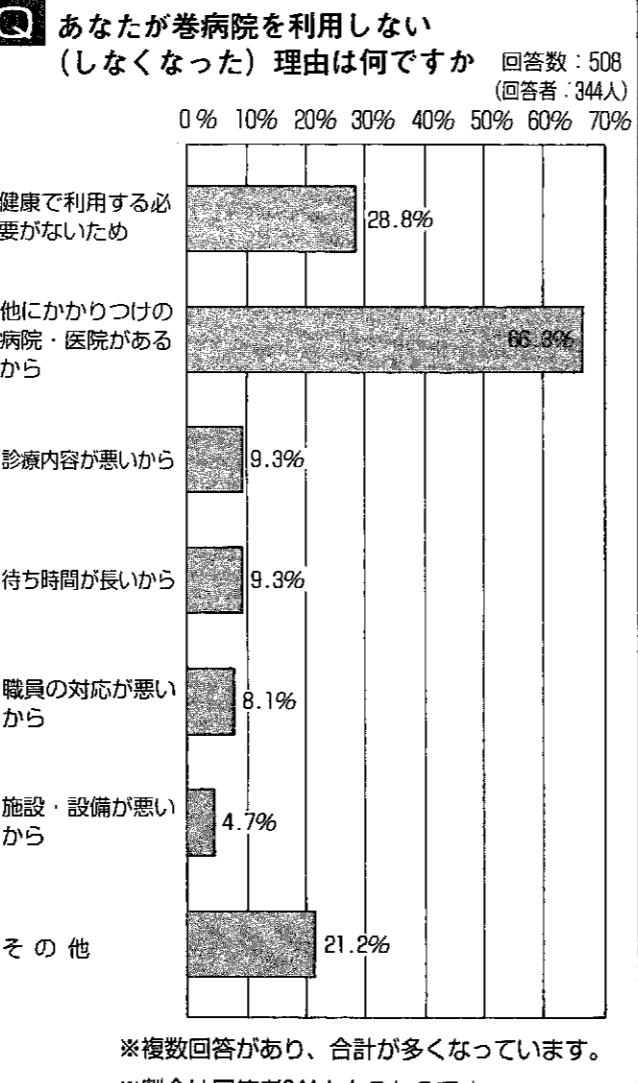
「看護婦の数が足りないようであり、皆さんが苦労しているように思う。いろいろな事情があると察するが、できる限り補充してもらいたい。薬局でも同様で、待ち時間を短くして頂きたい。」(男・70代)

アンケート調査にご協力を頂いた皆さん、大変ありがとうございました。今回は、調査結果のみをお知らせしましたが、今後、このアンケート結果を含めてあらゆる面から検討を重ね、「病院の在り方」を探っていきます。

町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

病院事業等対策課

(役場内☎72-3131内線220・221)



巻病院の在り方等

「もっと良い医師を集め、専門の科、特にこの科目は他人に負けないといった巻病院の良さをアピールすると良いと思う。お客様を集めて経営面を良くするには、それなりの個性・特色を出さないと赤字経営になると思う。また、大きな医療法人にでも来てもらうという手もある。」(男・40代)

「病院に行くということは具合が悪いからで、怒り顔、怒り声での態度は病状を悪化させます。奥の方でのふざけた笑い声、だらけた態度を見ると、何のために町民税を納めているのかと不満になります。もう少し改善して頂きたい。」(女・30代)

「予約というのは、本来その時間が一番患者にとって都合の良い時間なので約束するのだと思います。しかし、病院側は簡単に同じ時間に予約を幾人か取る傾向にあります。そのため、仕方なく30分から60分と予約した時間から待たされることが普通です。予約に関しては、他の人と決してダブルнейなシステムに変えて頂きたいと思います。…最近インフォームドコンセントといった言葉を良く耳にしますが、もう少し医者の方からの説明がほしいです。」(男・20代)

「我々の税金で運営されているながら、累積赤字が増すばかりである以上、大幅なリストラや規模縮小を検討すべきである。地域に密着した老人福祉施設や老人ホーム等に変えたらどうか? 町立病院として存続・運営していくことに疑問を感じる。町も職員の数・質を含めて再検討するべきだと思います。」(男・40代)

「利益重視の個人病院とは異なる医療施設であってほしい。自治体運営の医療機関の使命は、損益にとらわれない住民へのサービスの提供だと思います。運営などについてはあまりにも公務意識が強すぎる。受付時間や診療時間の厳しい制限は診療を希望する者の意欲を損なう。時間的に制約の少ない個人病院利用に拍車をかける。もう少し受診しやすい体制の確立を望みます。」(男・40代)

「内科・小児科は、午後の診療も行き、家庭医(かかりつけ)としての役割を果たしてほしい。高齢化社会に対応して、往診などもやってほしい。」(女・50代)

「薬は院外処方にならないのでしょうか。そうするとともっと早く帰ることができるのでですが。」(男・70代)

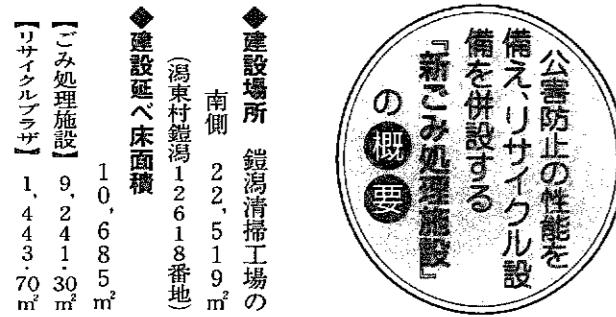
「地域の医療について責任を負うという点から病院の中にこもるのではなく、巻町を中心に積極的に外(地域)に出て、アピールをしてもらいたい。受身の姿勢ではなく、住民の健康を積極的に守る立場で、民間医療機関には無い視点での診療活動を要望する。大病院と開業医の中間にあって、なかなか難しい立場だとは思うが、地元の病院として頼りにしている。」(男・40代)

「もっと町立の看護婦も勉強してほしい。同じく医師にも言えることだ。それができない限りどんな対策課ができるようが無駄です。患者はどこでも好きな病院を選んで行けるのです。はっきり言わせもらえば、町立病院なんて無くても困りませんよ。」(女・40代)

「大学から来る先生方は1週間ごとに替わらないで、3~6ヶ月にできないでしょうか。」(男・60代)



《完成予定図》



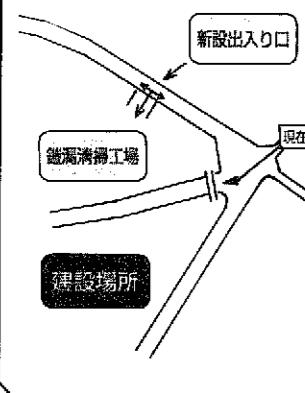
無事故を願つて!
建設起工式

10月1日、新しい「ごみ処理施設・リサイクルプラザ」の起工式が行われました。笠ヶ町長・衛生組合議会議員をはじめ、関係町村長、建設関係者が参加して、「処理能力が増し・高い安全性を持ち・リサイクル活動の中心としての機能を備えた新しいごみ処理施設」の無事な完成を祈願しました。



建設工事の開始に伴い、
鎌潟清掃工場の出入口が
変わります。建設工事の
平成11年11月20日から

新しい施設は次のように変わります



地域住民の快適な暮らしを支える “新ごみ処理施設”建設はじまる!!

「ごみ問題」は、日常生活の中で大きな課題の一つとなっています。
町及び衛生組合では、ごみの減量化・リサイクル運動の推進などに取り組んでいますが、ごみの量は年々増え続け、現在の処理施設（鎌潟清掃工場・昭和57年建設）の処理能力では不足を感じてきました。また、老朽化も目立ってきました。
これらの解消を図ると共に、更に安全性の向上を図るため、新しいごみ処理施設の建設計画が進められてきました。
7月から工事の始まりた、新ごみ処理施設の概要をお知らせします。

ごみ処理施設		施工期	ごみ処理施設	リサイクルプラザ
120トン/日(60トントン×2炉)	平成11年7月1日	16トントン(1日5時間運転)	88億6,200万円	80億1,000万円
缶類	平成14年3月20日	5トントン(アルミニウム)	8億6,100万円	1,000万円
びん類		7トントン(スチール)		
ト、茶色2トントン(その他2トントン)		2トントン(無色3トントン)		
ペットボトル				

9月定例議会

- ◎平成10年度一般会計・各特別会計決算を認定
- ◎「自然環境保全条例」「ポイ捨て・ふん害防止条例」を制定

9月定例議会が、17日から28日までの12日間の日程で開催されました。

会期中、平成10年度一般会計や各特別会計の決算、卷町自然環境保全条例・卷町ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例、平成11年度国保特別会計・水道事業会計補正予算などの案件が慎重審議され、原案のとおり認定・可決となりました。

また、子育て支援のための各保育園への遊具入れ替え費、公共職業安定所跡を利用して開設する予定の世代間交流コミュニティ施設の改装のための基金、今年5月の農作物風害への助成費、農村モデル事業による排水環境の改善費など、町民の皆さん的生活に密着した予算を盛り込んだ平成11年度一般会計補正予算は否決となりました。

町有地売却益を含む
“平成11年度一般会計補正予算、
は否決!!



条例関係・その他

【卷町自然環境保全条例】(平成12年4月1日から施行)
町の自然を愛護し、自然環境を保全しながら、自然と町民生活の調和を維持増進することを目的として制定されました。

自然緑地地域・景観地域・歴史環境地域の保全地域を指定し、地域内における建築物の建設・宅地の造成など(建設や開発等には許可が必要になります)を規制し、自然を守ります。

また、違反行為をした者に対する罰則も設けられています。

【卷町ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例】

(平成12年4月1日から施行)
空き缶や吸い殻のポイ捨てや飼い犬のふん害を防止し、清潔で美しい町づくりを推進することを目的に制定されました。

防止推進員を選任し、環境の美化に努めることなどが盛り込まれています。

【卷町少子化対策基金条例】(公布日から施行)

少子化対策の普及促進を図るために基金を設置します。

保育・教育施設の整備と充実、公共施設における託児サービスの実施・子どもたちのためのスペースや遊具の整備、PRなどの事業を実施するための基金です。

このほか、卷町ねたきり老人等介護手当支給条例、卷町デイ・サービスセンター条例、卷町乳児の医療費助成に関する条例など6条例及び消防事務組合規約の一部改正、ナホトカ号重油流出事故に関する訴え等の議案が可決されました。また、卷町教育委員(三橋義成氏)の任命についても同意となりました。



三橋義成氏
(仁箇)

水墨画一日教室

9月20日、漆山地区公民館で大島月庵氏を講師に迎え、水墨画一日教室が開催されました。

講師の「日ごろから自然に目を向け、花や風景など“きれいだな”と感じたらスケッチをすることが大切。花や葉・実のつき方を知らないと、うまく描けません。」との説明に、「畑に行つても、仕事しねえで花ばつか見てそげらな。」といふジョークも飛び出し、教室は終始、和やかな雰囲気の中で進められました。

また「バランスを考えながら、白い紙に“にじみ”と“かすれ”をうまく使って、楽しみながら描いてください。」と

のアドバイスもあり、参加した20人は、真剣な表情で講師の筆の運びに見入っていました。



関本夢子ちゃん【桔梗ヶ丘・1歳2ヶ月】

敬三さん、真理子さんの女のお子さん。「女の子だったら『夢子』とずっと思っていて、パパと2人で名付けました。健康に育ってくれれば、ほかは何もないですね。」とママ。アイスクリムと3歳上の『拓郎』お兄ちゃんが大好き。最近、保育園で覚えた「お話を歌う」と絵本を取りに行き、「ママ、読んで」とせがむ『ゆめ』ちゃんです。

9月末の人口	
総 数	30,527(+ 11)
男	14,793(+ 8)
女	15,734(+ 3)
世帯数	8,878(+ 4)
(土)は8月末からの増減	

お誕生おめでとう

(9月16日～30日届出分)

名 前	出生月日	保 父 母	地 区
大橋 のぞみ	9. 3	勝秀・恵美子	赤 鎌
大澤 大輔	9. 7	誠勝江	竹野町
白崎 小渕	9. 9	宣泰子	角田浜区
館 みどり	9.12	直樹・早苗	4 区
小島 菊悟	9.16	一夫・愛	1 区
渡邊 瑠璃	9.16	尚行・聰子	葉萱場島
羽生 こよな	9.17	七夫・一恵	稻 島
永井 ゆた	9.17	徹志保	1 区
古井 莉紗	9.19	優司・久美子	越前浜
鎌田 隼	9.22	昭二・真由美	3 区
丸山 德	9.24	直行・勝美	13 区

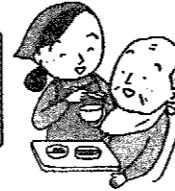
ごめい福をお祈りします

(9月16日～30日届出分)

名 前	死亡月日	年齢	地 区
久保田 勝久	9.15	69	11 区
中室 ミ子	9.16	97	白寿荘
三島 光雄	9.22	78	安尻
山下 博	9.23	88	越前浜
大谷 ムツ子	9.25	64	天神町
岩崎 キク	9.26	83	白寿荘
貝瀬 剛	9.28	18	12 区
近嵐 カヅエ	9.28	57	新月
渡邊 ミセ	9.29	94	白寿荘

*お誕生おめでとう「ごめい福をお祈りします」欄に掲載を希望されない方は、住民課窓口係または、企画開発課広報広聴係までお申し出ください。

シリーズ⑥ 介護保険



介護保険サービスを受けるには?

寝たきりや痴ほうなどで介護が必要になりましたり、家事や入浴などの日常生活で支援が必要になった時は「介護保険サービス」が受けられます。介護保険サービスを受けるには「介護認定申請」が必要です! 詳しくは、介護保険係にご相談ください。

《介護保険サービスを受けるための手順》

- ①町(高齢福祉保健課介護保険係)に「介護認定申請」をする。
※本人または代理人が、本人の住所・氏名・生年月日と主治医の氏名・医療機関を申請書に記入し、保険証と一緒に提出する。
- ②町が介護認定調査員を派遣して、本人の心身の状態を調査する。また、本人のかかりつけの医師から「主治医意見書」をもらう。
- ③②の調査結果をコンピュータで分析し「第1次判定結果」を作成する。「主治医意見書」などをそろえて、卷町介護認定審査会で審査・検討をして要介護状態(6段階)に該当するかどうかを決定(2次判定)する。
- ④審査会の結果を、申請者へ通知する。
- ⑤申請者(本人または代理人)は、町と相談して介護サービス計画を作る。
- ⑥介護サービス計画に従って、「訪問サービス」または「施設サービス」を受ける。
- ⑦現在、町の福祉サービスを受けている方も申請が必要です。

◆申請の受付場所及び問合せ先

- *卷町高齢福祉保健課 介護保険係(役場1階)
☎72-3131 内線176~178
- *各地区民生委員(問合せのみ)
- *白寿荘・横の里に入所している方は、その施設で申請することができます。

表紙

イモみつけ!
これがおいしい『焼きイモ』に
変身するんだよね

9月29日漆山西保育園で、「園児・祖父母交流会」が行われました。ばら組の園児24人は、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に「イモほり」を体験。自分の顔ぐらい大きいサツマイモを掘り当て、大喜びでした。

秋の交通安全運動「街頭指導」 児童・生徒を事故から守る

9月21日、卷警察署長、笛口町長はじめ交通安全関係者が参加して、秋の交通安全運動街頭指導出発式が行われ、交通安全の意識やマナーの向上を図ることが確認されました。

式典終了後、関係者は街頭指導に出発。元気良く登校する児童たちに「おはようございます」とあいさつをしながら、「左右をよく見て渡りましょう」と交通安全を呼び掛けていました。



皆さん大変
ありがとうございました

*越後中央農業協同組合(小瀬重雄組合長)から学校給食用として、コシヒカリ2・9kg、新玄米9・0kgを寄贈頂きました。
*高田進さん(東6区)から横の里に、山野草と花の写真108点を寄贈頂きました。

おわびと訂正

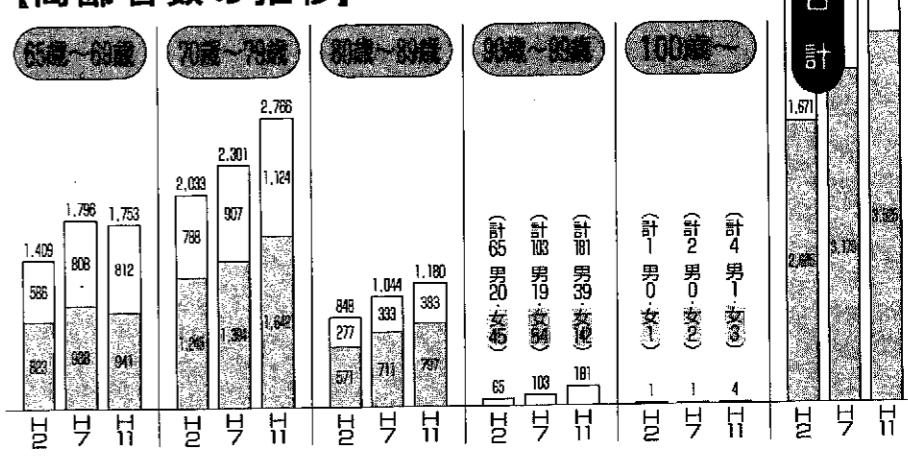
卷町の65歳以上 人口と対人口比

H2
4,356人(15.0%)

H7
5,246人(17.5%)

H11
5,884人(19.3%)

【高齢者数の推移】



9月25日号(3ページ)に掲載した「卷町の65歳以上人口と対人口比」「高齢者数の推移」に誤りがありました。おわびして訂正します。

城山路をたずきでつなぐ 第6回 ちびっこ駅伝大会

○とき 9月19日 ○ところ 塩山運動公園
○コース 約1.3キロ×8人

《男子 参加 12チーム》

優勝 漆山少年ファイターズA
39分42秒
準優勝 巷サッカークラブA 40分09秒
3位 松野尾オールスターズA
40分23秒

《女子 参加 4チーム》

優勝 巷Jr.バレーボールクラブA
44分44秒
準優勝 巷・漆山ドッジボールクラブ
44分51秒
3位 ジュニアテニス
47分06秒



選手宣誓
石田 昌大くん
(サードイーンイーグルス)
巻北小6年



第7回まきE・Wコンサート

9月26日、巻町文化会館で、第7回まきE・Wコンサートが行われました。

第1部は巻西中吹奏楽部51人が、第2部は巻東中吹奏楽部57人が、一生懸命に練習した名曲を4曲ずつ披露しました。

第3部は両校の合同演奏です。マーチ「美中の美」は力強く、映画「スターウォーズ」「ゴジラ」は臨場感いっぱいに、そして最後に「天地創造…ノアの方舟・メインテーマ」を、雄大なスケールをイメージさせるような演奏で聴かせてくれました。

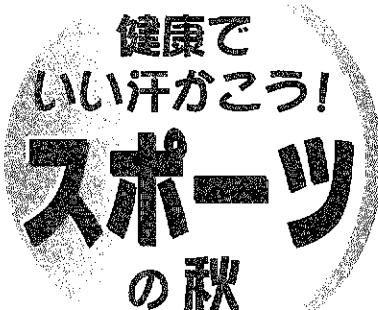
また、両校吹奏楽部は、吹奏楽コンクール県大会で共に金賞に輝き、9月11・12日に行われた西関東大会にそろって出場。巻東中が51人編成部門で『銅メダル』を、巻西中が35人編成部門で『銀メダル』を獲得しました。

気力充実 一本!

第17回 西蒲・魚地区剣道大会

○とき 9月26日 ○ところ 県立巻高等学校

《小学校4年生以下の部》
参加 19チーム
3位 巷町剣道スポーツ少年団
《小学校5・6年生の部》
参加 21チーム
3位 越前小剣士会
《高校男子の部》
*団体戦 参加 6チーム
2位 巷高校A
*個人戦 参加 17人
優勝 鈴木 康仁 (巻高校)
3位 更科 賢祐 (巻高校)
《高校女子の部》
参加 4チーム
2位 巷高校
《家庭婦人の部 参加5チーム》
2位 巷町剣道スポーツ少年団



第5回 にいがたねんりんピック 下越地区予選

ゲートボール大会

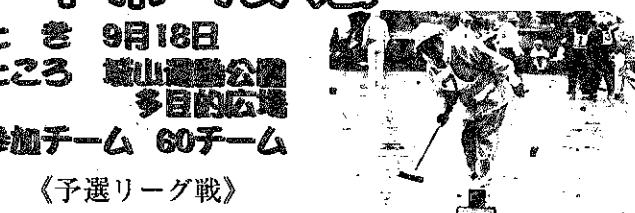
○とき 9月18日
○ところ 塩山運動公園
多目的広場
○参加チーム 60チーム

《予選リーグ戦》

*東町クラブ 3勝1敗
*巻・竹野町クラブ 3勝1敗

懇コンディションも
なんのその!!

熱戦を展開



9月26日、巻町文化会館で、第7回まきE・Wコンサートが行われました。

第1部は巻西中吹奏楽部51人が、第2部は巻東中吹奏楽部57人が、一生懸命に練習した名曲を4曲ずつ披露しました。

第3部は両校の合同演奏です。マーチ「美中の美」は力強く、映画「スターウォーズ」「ゴジラ」は臨場感いっぱいに、そして最後に「天地創造…ノアの方舟・メインテーマ」を、雄大なスケールをイメージさせるような演奏で聴かせてくれました。

また、両校吹奏楽部は、吹奏楽コンクール県大会で共に金賞に輝き、9月11・12日に行われた西関東大会にそろって出場。巻東中が51人編成部門で『銅メダル』を、巻西中が35人編成部門で『銀メダル』を獲得しました。



広報まき お知らせ版

町立巻病院	72-3111	文化会館	73-2219	上下水道課	72-2164
消防署	72-3309	公民館	72-3329		

No. 350

平成11年10月10日

(毎月10日・25日発行)

発行…巻町
編集…企画開発課

〒953-8666

新潟県西蒲原郡巻町大字巻甲2690-1

☎ 0256-72-3131

FAX 0256-72-6022

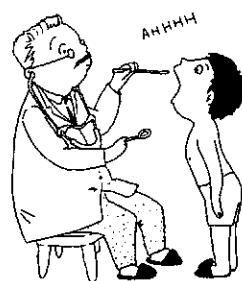
町立巻病院

小児科の診療を休止します

町立巻病院では、平成11年11月
1日から小児科の診療を都合によ
り休止とさせて頂きます。

(問合せ) 町立巻病院 庶務課

☎ ②3111



保
健

申込み問合せ	お済みですか
卷町高齢福祉保健課 健康づくり・保健指導係 ☎ ②31131(内線172・174)	大腸がん検診

問合せ	年に一度は受けましょう!
卷町高齢福祉保健課 健康づくり・保健指導係 ☎ ②31131(内線172・174)	胸部レントゲン検診

食生活の欧米化などにより、近年、大腸がんにかかる人が増えています。

今年度も、大腸がん検診を年間を通して実施していますが、10月14日(木)が最終日となります。受診がまだ、お済みでない方、また新たに大腸がん検診を希望される方は、ご連絡ください。

検診(便提出)日 10月14日(木)
提出会場 保健センター
午前9時～10時30分

今年度も皆さんの地区に検診車

が伺います。今年一度も胸部レン
トゲン検診を受けていない方は、
是非、受診してください。
※受診票がない方でも、当日の受
付で受診できます。

◎ 検診日程

(該当する会場で受診できない方は都合のよい会場で必ず受診してください。)

10月22日(金)		10月21日(木)		10月20日(水)		10月19日(火)		月日
保健センター		並岡分館	J.A.越後中央	松野尾集落	角田浜区長	峰岡地区公民館	町営体育館	役場
漆山地区公民館	(東保育園となり)	四ツ郷屋支店	越前浜ふれあいセンター	入研修場	竹野町集落	やさしさ会館本館 (13区淨水場跡地)	午後1時～午前10時～	午前10時～午前11時～
午後2時～	午後1時～	午前10時～	午前11時～	午後2時～	午前9時30分～	午後1時～午前10時30分	午後2時10分～午後3時	午前11時10分～午前11時
午後2時30分	午後1時30分	午後2時40分	午前11時30分	午後2時30分	午前9時45分	午前11時30分	午後2時20分～午後3時	午後1時30分～午後1時
全町内		3～8の丁、東町	桜林、栄町、並岡、上組、中組、下組	松山、松野尾地区、大原、新月	五ヶ浜	上木島、下木島、鶴ノ木、天神町	12・13区、桔梗ヶ丘、葉蕪場、中郷屋割削、東洋上、羽田、前田	3・4・5・6・7・8区
(各会場で都合が悪く受診できなかつた人)		高畠、柿島、山島、西下組、下組、1～2の丁、庚午団地、河井	十二原	越前浜			東6区、グリーンハイツ、赤錆、堀山団地	1・2区、安尻、下和納、漏頭、

町民生活カレンダー 10月

オクトウバー
October 16~31日 (○=時間)
(△=会場)

16 土	★町立巻病院外来診療休診 ★役場閉庁
17 日	▶休日救急当番医 (診療時間:午前9時~午後6時) 〔外科〕県立吉田病院(吉田町) ☎ 022-5111 〔内科〕杉山医院(中之口村) ☎ 025(375)3009
18 月	○得雲荘休館日
19 火	
20 水	◆1歳6か月児健診 ○午後1時20分集合 △保健センター ◎じょんのび館休館日
21 木	●心配ごと相談 ○午前10時~午後3時 △役場1階相談室
22 金	
23 土	★町立巻病院外来診療休診 ★役場閉庁
24 日	▶休日救急当番医 (診療時間:午前9時~午後6時) 〔外科〕吉岡医院(吉田町) ☎ 022-7887 〔内科〕松崎医院(中之口村) ☎ 025(375)3013 ○得雲荘休館日
25 月	◆6・7か月児離乳食指導会 ○午後1時20分集合 △保健センター ○得雲荘休館日
26 火	
27 水	◆9・10か月児乳児相談会 ○午前9時30分集合 △保健センター ◆3・4か月児健診 ○午後1時20分集合 △保健センター
28 木	●心配ごと相談 ○午前10時~午後3時 △役場1階相談室 ◆たんぽぽ広場 ○午前9時30分~11時30分 △保健センター
29 金	◆2歳児健診 ○午後1時20分集合 △保健センター
30 土	★町立巻病院外来診療休診 ★役場閉庁
31 日	▶休日救急当番医 (診療時間:午前9時~午後6時) 〔外科〕桑原医院(5区) ☎ 022-2221 〔内科〕長沼内科医院(中之口村) ☎ 025(375)5188 ◆両親学級(2回目) ○午前9時30分~正午 △保健センター

住民課窓口時間延長のお知らせ 次回は10/27です

- 延長実施日…毎月第2・第4水曜日(午後7時まで/祝日の場合は休み)
- 受付業務…①戸籍謄本・抄本の発行 ②住民票謄本・抄本の発行
③印鑑登録及び印鑑証明書の発行

赤ちゃんの健康のために

会場／保健センター

◆1歳6か月児健診

対象 10年3月生まれの幼児
とき 10月20日(木)

午後1時20分集合

内容 内科検診、歯科検診、身体計測、保健婦の問診、栄養指導

持ち物 母子手帳

◆6・7か月児離乳食指導会

お子さんの離乳食について心配されているお母さん。栄養士、保健婦が相談に応じます。

対象 11年3・4月生まれの乳児
とき 10月25日(月)

午後1時20分集合

内容 離乳食の指導、身体計測
持ち物 母子手帳、バスタオル

◆9・10か月児乳児相談会

対象 10年11・12月生まれの乳児
とき 10月27日(水)

午前9時30分集合

内容 身体計測、保健婦の問診、離乳食の指導

持ち物 母子手帳

◆3・4か月児健診

対象 11年6月生まれの乳児
とき 10月27日(水)

午後1時20分集合

内容 内科検診、股関節の脱臼検査、身体計測、保健婦の問診、離乳食の指導

持ち物 母子手帳、バスタオル

◆2歳児健診

対象 9年10・11月生まれの幼児
とき 10月29日(金)

午後1時20分集合

内容 歯科検診、歯磨き指導、身体計測、保健婦の問診、栄養指導

持ち物 母子手帳、歯のアンケート

※歯科検診受診の際は歯をよく磨き、以後何も食べさせないでください